

開会あいさつ

国立大学法人帯広畜産大学

理事・副学長 小田 有二

ウィスコンシン大学 国際教育プログラムオフィス

部長 ジョン・フェリック

発表内容

1. なぜバレイショの生産と品質においてカルシウムとその施肥が重要なのか？

－バレイショへのカルシウム施肥：

バレイショ塊茎の品質向上と熱ストレス軽減－

ウィスコンシン大学 園芸学研究部門

教授 ジワン・パルタ

2. 北海道のバレイショ栽培における最適なカルシウム施肥法を目指して！

帯広畜産大学 地域環境学研究部門

准教授 谷 昌幸

バレイショ栽培における
カルシウム施肥の重要性と
北海道でのチャレンジ

バレイショの栽培において、カルシウム施肥による品質向上の重要性を最初に唱えたのがウィスコンシン大学マディソン校園芸学部のジワン・パルタ教授です。パルタ教授の専門は植物生理学であり、環境ストレスや冷涼な気候環境に対する植物の適応について、遺伝学的、生理学的、分子生物学的な観点からの研究を進められてきました。近年は、バレイショ塊茎のカルシウム吸収経路を明らかにして、施肥方法の改善による塊茎品質の向上の可能性を示唆する研究論文を数多く発表され、バレイショ産業界から非常に大きな注目を浴びています。その研究成果に注目し、帯広畜産大学地域環境学研究部門の谷准教授とカルビーポテト株式会社が共同研究を2013年度に開始しました。北海道の土壌や加工用バレイショに含まれるカルシウムの実態、北海道のバレイショ栽培におけるカルシウム施肥による収量増加や品質向上の可能性などを明らかにしながら、北海道の土壌や栽培方法に応じた最適な施肥技術の開発を目指しています。

2014年 **11/13(木)** 14:00～17:00

帯広畜産大学 講堂 入場無料
(帯広市稲田町西2線11番地)

問い合わせ先

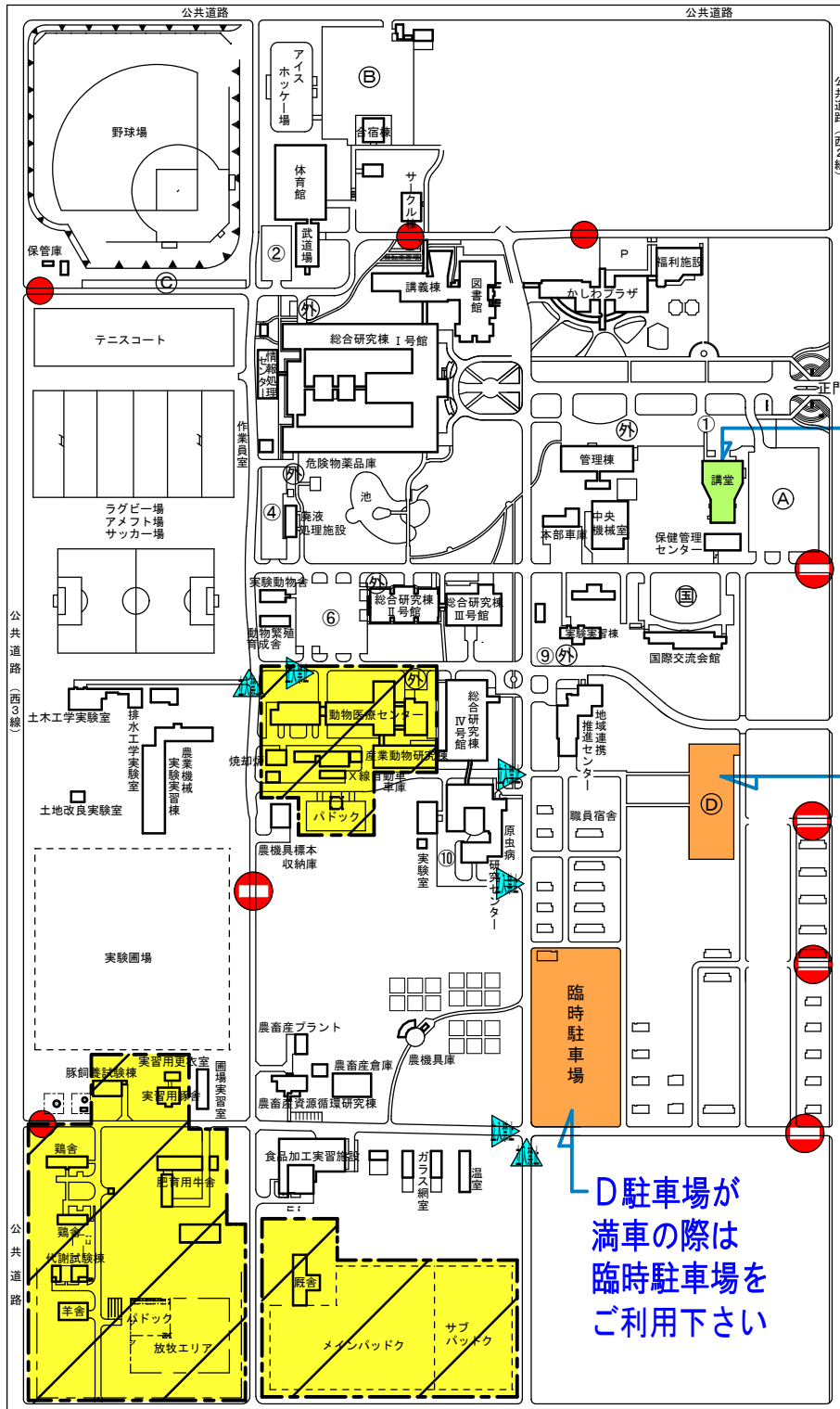
帯広畜産大学研究支援課

TEL 0155(49)5342 FAX 0155(49)5289 Mail kenkyu@obihiro.ac.jp

大学および構内地図 <http://www.obihiro.ac.jp/facility/map-index.html>



帯広畜産大学配置図 (オープンセミナー交通規制)



【セミナー会場】
 入口で受付をお願いします

駐車場はこちらを利用願います
 なお、当日は混雑が予想されますので、
 乗り合わせの上、お越し下さい。

D駐車場が
 満車の際は
 臨時駐車場を
 ご利用下さい

凡 例

- 使用施設
- 使用駐車場
- 出入口規制封鎖
(バリケード・看板)
- 閉鎖中
- 石灰散布場所
- 関係者以外立入禁止区域
- 立入禁止看板